

変

革を実現するリーダーシップ、グローバル人材の育成、次世代経営層・管理職層の養成など、企業の人材にまつわる課題はますます多様化しています。そして、これら課題の解決方法たる教育手法についても、その重要性が高まりつつありますが、過去の延長で実施しているだけでは現実問題と乖離が広がる可能性が高まっています。

「神田橋倶楽部」は、現在の課題・今後の対策について会員同士で議論し考える、「研修担当者の研鑽と交流」を目的とした会員制の集いです。

研修担当者の 研鑽と交流の集い

神田橋倶楽部

【会員制 全6回コース】

KANDABASHI CLUB

前期
コース
(全6回)

10/6 木

START

15:00-18:00

10/6(木)・10/19(水)・10/31(月)・11/14(月)・11/29(火)・12/9(金)

後期
コース
(全6回)

10/12 水

START

15:00-18:00

10/12(水)・10/26(水)・11/7(月)・11/22(火)・12/1(木)・12/14(水)

企業の研修担当者は孤独です。

企業戦略の要である人材育成を一身に背負い、正解がない中で教育プランを立て、責任を持たなければいけません。

「人材育成の課題として、昨今どのようなものが増えているのか」

「そのような課題に対する方策として、目下どのような教育手法が多く取り入れられているのか」

上記のようなニーズから、研修担当向けセミナーのアンケートでも「研修担当者同士の交流会があればぜひ参加したい」という要望は多数いただいております。

「当社こそ、お客さま同士が交流し、情報交換を行う場を設けるべきなのではないか・・・」そうした思いで企画したのが、この会員制の集い「神田橋倶楽部」です。

対象

民間企業で教育・研修の企画を担当されている方

会費

105,000円/1社【全6回】

法人単位でのお申込となります。同一法人に所属する方であれば、どなたでもご参加が可能です。(各回で別の方がご参加いただくことも可能です) ※各回の同一法人からのご参加は最大2名様までとさせていただきます。

会場

東京 i-Room 「神田橋パークビル 5F」
東京都千代田区神田錦町 1-19-1 神田橋パークビル5階

インソースの経歴と実績

研修カリキュラム総数 **1,500** 種類
0003年1月～

年間研修実施回数 **5,777** 回
0003年01月～2011年04月

【事前課題による受講者ニーズの促進】

お取り引き社数

4,247 社

実施内容

1. 人材育成におけるトレンドと課題【第1回】

第①回 人材育成におけるトレンドと課題

研修担当者として、人材育成を取り巻く世の中の流れを把握することは欠かせません。

変革を実現するリーダーシップ、グローバル人材の育成、次世代経営層・管理職層の養成など、目下の課題について意見交換・議論し、今後の人材育成のあり方について検討します。

※終了後、懇親会を予定しております。

2. 研修の企画【第2回～第4回】

第②回 人材育成の課題(ニーズ)をいかに把握するか

足元の課題(ニーズ)を正確に把握することが、研修企画の原点です。課題(ニーズ)を把握するために、どのような方法が有効であるかについて検討します。

(研修受講者のニーズを把握するために非常に有益なアンケート手法についてもご紹介します。)

第③回 研修体系の作り方

研修体系は世の中の流れ、経営計画にしたがって常に見直しがなされています。

世の中の流れから企業の人材に何が求められていて、経営計画実現のために自社の人材育成の課題は何か、という点について議論することは欠かせないステップです。

様々な企業・業界の参加者の皆様に議論し、新人～若手～中堅～管理職のそれぞれの課題は何かを整理して、能力強化の重要度と緊急度を考えていきます。

第④回 研修プログラムの作り方

研修効果を高めるためには、受講者に前向きに参加してもらい、気づきを得てもらい、やる気になってもらうプログラムを作成することが求められます。

参加者の皆様の成功・失敗事例の共有、弊社事例などを踏まえて、ワークの手法、講師選定の基準など、実際にプログラムを形にするための方法を考えていきます。

3. 研修アンケートと効果測定【第5回～第6回】

第⑤回 研修事後アンケートの設計と結果分析

研修後のアンケートは、研修を評価するための有効なデータです。研修アンケートの具体的な設計方法と結果分析の方法を再確認します。実際に自社で使っているアンケートやアンケート結果を持ち寄り、アンケート作成やアンケート分析の演習を行います。

なお、研修で設計したアンケートフォーマットを、実際に使用していただき、その有効性を検証します。

第⑥回 研修効果測定の方法

研修は、受講者の行動変容に効果があつてこそ、真の目的が果たされたといえますが、その測定手法を確立することは、全ての研修担当者共通の課題といえます。

まず、研修効果をいかに持続させるか、研修効果をいかに把握するか、という観点からアンケートの活用方法を考えます。効果測定を具体的に検討しているテーマについて、参加者が課題を持ち寄り、どのような効果測定手法が有効であるかを考えます。

■ コーディネーター

舟橋孝之(代表取締役)

宮尾一宏(取締役)

山本健太(企画開発本部)

水野大輔(企画開発本部)